

## 校外学習プログラム

支援団体

株式会社テレビ東京

株式会社テレビ東京は、メディアの役割や使命を次世代の子供たちに伝えていくことを重要なCSR活動と位置付け、テレビ局の仕事や放送の仕組みなどについて学ぶことを通じて、「仕事や働くこと」について楽しく考える場を提供しています。小学校5年生から高校生までを対象としていますが、今回は都立武蔵高校附属中学生が体験してきた様子を紹介します。

### プログラム紹介

#### ① まず映像で理解——「見る」プログラム 約20分

職場見学に出発する前に、テレビ局の仕事概要や一つのテレビ番組が完成するまでの流れについて、DVDで学習します。



番組製作の流れについて学習中

#### ② 実際に現場を見学——「体験する」プログラム 約60分

テレビ局についての基本的な事柄を学習した後は、いよいよ現場見学です。

美術担当やカメラ担当の方たちが念入りに準備をしている収録開始前のスタジオや、昼のニュース番組の生放送を行う副調整室（サブコントロールルーム）を見学します。生放送中の副調整室では、CMIに入るタイミングをはかる人、VTR再生を担当する人、音量の調整をする人、効果音を入れる人、字幕（テロップ）を入れる人——と、それぞれの持ち場ごとに、秒刻みのスケジュールでミスなく仕事をする緊張感を、感じることができます。

副調整室見学の後は、カメラマンの控室や、撮影された映像の編集を行う編集室なども見学。「取材・撮影 → 編集 → 放送」という一連の流れをそれぞれ担当する部署を見学する中で、「リレーのバトンをつないでいくように、責任

を持って、それぞれに任された仕事を完成させていく。一人でも抜けたら番組は完成しない。」という説明を受けました。

普段テレビで目にすることのできる出演者の方以外にも、多くのスタッフが関わって番組製作が行われているということを実感できました。



生放送中の副調整室



収録前のスタジオを見学

#### ③ 社員の方に質問——「話を聴く」プログラム 約20分

最後は、「見る」「体験する」プログラムを経て疑問に思ったことを、質問する時間です。「生放送中のハプニングは?」「テレビ東京に入社したら、どんな部署に行くのか?」「テレビ局で働こうと思ったきっかけは?」など、様々な質問が出されました。



ロケで使用するカメラを持たせてもらいました

参加した生徒からは、「当たり前に見ているTVの裏側はとても大変だった。」「カメラを持ったり、キャスターとしてニュース原稿を読むなど、普段は絶対できない体験ができて、とてもうれしかった。」「生放送の大変さや裏方の人の大変さを初めて知った。1つの番組ができるまでにたくさんの過程があることに驚いた。」という感想がありました。

支援者の声

#### ■ 株式会社テレビ東京 総務人事局総務部 内藤 裕一さん 日比野 努さん

テレビ東京の校外学習で案内するのは、観光用の見学コースではなく、生放送直前のスタジオや本番組のサブコントロールルームなど、テレビ東京の社員たちが真剣勝負をしている実際の職場です。そこではテレビ局の仕事のおもしろさや厳しさ、緊張感などを肌で感じることができると思います。

私たちの活動は小規模ですがその分、「キャリア教育」や「メディアリテラシー」など、学校の狙いにできるだけきめ細やかに対応したいと考えています。

しっかりと目的意識を持つての訪問をお願いいたします。